RS
SILVER

F★★★★
ホルムアルデヒド登録認定商品

非トルエン・キシレン塗料
（一社）日本塗料工業会　室内環境対策のVOC自主表示 ガイドライン～「非トルエン・キシレン塗料」～に適合

シルクのようなしっとりした艶消しで
シックな仕上りに。

RS
シルバーマットSi

水性艶消しシリコン樹脂塗料

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

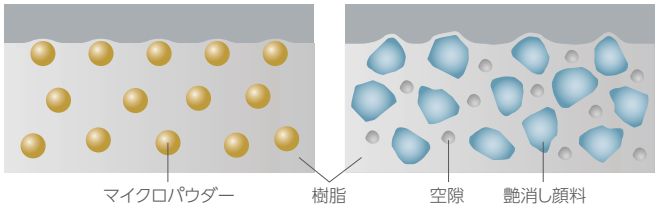
RSシルバーマットSi

1 やさしい質感

「マイクロパウダー技法」で細粒子化しシルクのような、なめらかな艶消しの仕上りを実現。

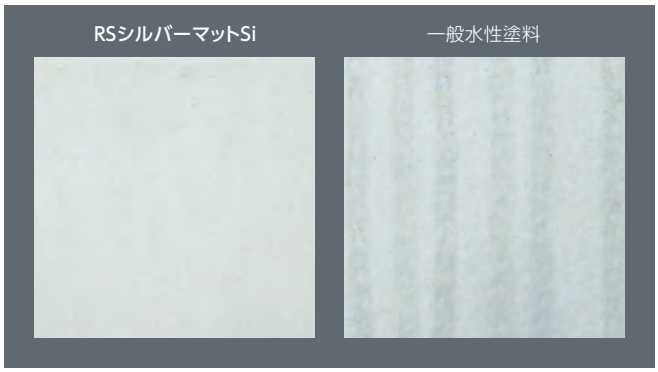
艶消しイメージ（比較）

RSシルバーマットSi	一般水性塗料
RSシルバーマットSiには空隙がない。	一般水性塗料には空隙がある。



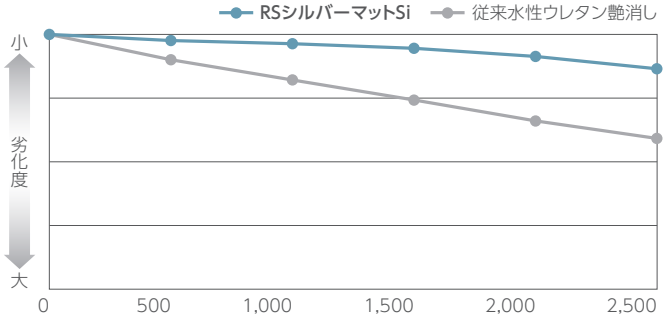
2 低汚染性

「特殊親水性粒子」の効果による低汚染性で雨筋汚れを抑制します。



3 高耐候性

高耐候な塗膜が建物の資産価値を守ります。



※劣化度は変褪色の度合い（色差ΔE）を示したものです。

4 防カビ性

防カビ性に優れています。

カビ抵抗性試験（例:JIS Z 2911 試験方法）

菌糸の生育は認められないレベルに達しています。

試験菌の前培養 → 懸濁液の作成（湿潤剤添加滅菌水を用いて胞子数約10^6個/mlに調製）

培 養：26±2℃
7～14日間程度

↓

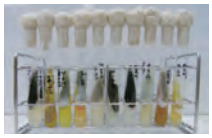
懸濁液の試験片への接種（試験片30×30mmに対して0.5ml）

↓

試験片の培養（26±2℃ 28日間 湿度95～99%）

↓

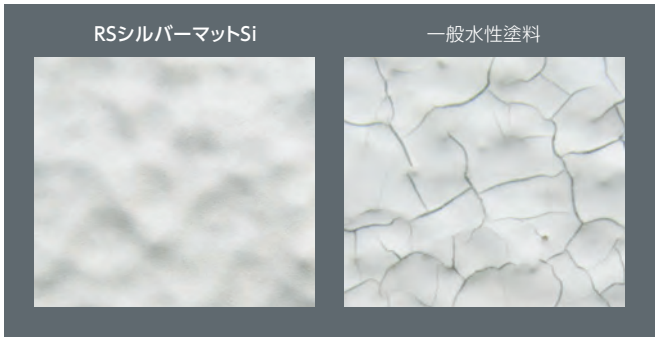
結果判定



カビ抵抗性試験供試菌株

5 高耐久性

「マイクロパウダー技法」で細粒子化し艶消しにすることにより、経年劣化における塗膜のワレを軽減します。



6 水性・環境に優しい無鉛

環境に配慮し、有害な揮発性有機溶剤や重金属は使用しておりません。

（ホルムアルデヒド放散等級　F☆☆☆☆）

■ 塗料性状

荷　姿	15kg、4kg	加熱残分	65%（白）
混合比	—	劇物表示（品名・含有量）	—
色	白および各色	労安法上の表示有害物	—
艶	艶消し	有機則/特化則	—
仕上り感	平　滑	消防法による危険物区分	非危険物
塗料比重	1.45（白）	硬化剤の成分による区分	—
溶剤比重	1.00（上水）		

※上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

■ 塗装条件

塗装方法	ハ　ケ	ローラー
希釈率	0～10%	0～10%
標準所要量(kg/㎡/回)	0.13～0.23	0.13～0.23
希釈剤	上　水	上　水

※標準所要量は、個々の条件によって異なります。　※標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

■ 塗装間隔

項　目 ＼ 温　度		23℃	10℃
標準塗装間隔	最　短	2時間	5時間
	最　長	7日	7日
使用時限		ー	ー

下塗塗料　下地に合った下塗塗料を選ぶことも重要なポイントです。

RSサーフ 水性

ダブルマイクロ技法により、キメ細かい滑らかな肌を実現します。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSフィラー 水性

これまでに培った技術力を結集した長期耐久性弾性下地調整材。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル

RSプライマー 水性

水性で臭気も少なく、幅広い旧塗膜・基材へオールマイティーに対応します。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSマルチシーラー 溶剤

紫外線をブロックしあらゆる素材へ優れた付着性を発揮。
光触媒サイディングなどに最適な下塗材です。

【主な適用素材】コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード
【主な素材適正】フッ素塗装面・光触媒塗装面・無機塗装面

汚れについて

①カビ、藻、シーリング材のにじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。
②塗装後3日～1週間から落ちはじめ、その間に付着した汚れも徐々に除去されます。但し建物の構造上、本来の低汚染性能が十分に発現しない場合があります。雨掛かりの少ない被塗面や、汚れが大量に流れ落ちる被塗面では、十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承お願い致します。
③足場解体時など、部分補修する際には、汚染ムラの発生原因となりますので、硬化剤の入れ忘れ、不足などに十分注意してください。

施工上の注意事項

①気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
②塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でぜい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
③使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
④押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマーEPO)をご使用ください。
⑤軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
⑥ハケ塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご留意ください。
⑦黄・赤・青・緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性を上げるため、1層目と共色で塗装して仕上げることをお奨めします。
⑧合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
⑨シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗には「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を使用することをお勧めします。
⑩塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
⑪施工部位、被塗物の形状、環境条件により低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
⑫塗料を開放して長時間放置すると上乾きする場合がありますのでご注意ください。
⑬濃色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
⑭建物の構造上、雨掛りの少ない面や結露が生じ易い場合において、塗膜表面に膨れ、白化、艶ムラ、粘着物が発生する恐れがあります。著しい結露が予想される場合は、溶剤系塗料での施工をお勧めします。
⑮降雨や結露等により塗膜表面に粘着物が発生した際には、水道水で十分に洗浄または水拭きにより除去した後、十分乾燥させてください。
⑯塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛かった場合や、低温、高湿度、通風のない環境では、膨れ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は強制換気などで乾燥を促進させてください。
⑰ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
⑱過希釈は隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
⑲補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
⑳防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理をしてから塗装してください。
㉑開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保管し、速やかに使い切ってください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

予防策
取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落し、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

対応
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保管
指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃棄
本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全
本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社
関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(20年06月03刷PKO) カタログNo.782